

科目名	資格対策講座 2							年度	2025
英語科目名								学期	後期
学科・学年	電子・電気科 電気工事コース 2年次	必/選	選 2	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	若林恵美		教員の実務経験	あり	実務経験の職種	なし			
【科目の目的】									
この授業では、個人ワークやグループワークを採り入れる。また、資格対策講座1と連携し、防災系国家資格としての在学時取得を行うものとする。授業中での行動を通じて、学生の「火災警報設備に対する意識」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、防災に対しての提案能力を自分自身の言葉で語り、構築できるようになることを目指す。									
【科目の概要】									
この科目を受講する学生は、総合電気工事における国家資格「乙種7類消防設備士」取得の為の知識を習得する事が出来ます。消防設備士とは、消防用設備が常時機能を発揮する事を確保する制度であり、消防設備士はその業務を誠実にい行い工事又は整備に関する技術の向上をはかり、常に新しい知識や技能を身に着ける必要があります。そのためにはこれまで学んできた電気工事の知識を利用し、防災系としての国家取得をめざし、現場活動を行う上での基準を学び、総合的に理解できるようになるのがねらいです。									
【到達目標】									
この科目では、学生が電気工事業界から取得を求められている、「乙種7類消防設備士」の資格取得が目標となります。防災系資格としての知識の取得・機器整備に対する構造要件など、電気工事士の技術や知識を有効活用し、防災に関する理論を率先して理解すること。消防署などの公的機関や発注元となる顧客への正式な書類提出の方法も理解する。施工現場での専用材料の発注や工程管理を学び理解します。業務活動を行うための必要な能力を具体的にイメージすること、無駄の無い効率的な整備の重要性を理解することを目標にしている。									
【授業の注意点】									
この授業では、国家資格の取得を重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ループリック									
ループリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	消防関係法令(各類共通部分)についてよく理解し、説明をすることが出来る。		消防関係法令(各類共通部分)についてよく理解している。		消防関係法令(各類共通部分)について理解していない。				
到達目標 B	消防関係法令(第7類)についてよく理解し、説明をすることが出来る。		消防関係法令(第7類)についてよく理解している。		消防関係法令(第7類)について理解していない。				
到達目標 C	漏電火災警報器の構造と機能についてよく理解し、説明をすることが出来る。		漏電火災警報器の構造と機能についてよく理解している。		漏電火災警報器の構造と機能についてよく理解していない。				
到達目標 D	漏電火災警報器の設置場所、設置方法についてよく理解し、説明をすることが出来る。		漏電火災警報器の設置場所、設置方法についてよく理解している。		漏電火災警報器の設置場所、設置方法についてよく理解していない。				
到達目標 E	漏電火災警報器設置後の検査、点検、整備についてよく理解し、説明をすることが出来る。		漏電火災警報器設置後の検査、点検、整備についてよく理解している。		漏電火災警報器設置後の検査、点検、整備についてよく理解していない。				

【教科書】 自作プリント						
【参考資料】						
【成績の評価方法・評価基準】 試験：70%試験を総合的に評価する。小テスト：15%授業内容の理解度を確認するために実施する。平常点：15%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。						
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。						
科目名		資格対策講座2			年度	2025
英語表記					学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	消防関係法令 (各類共通部分) の全体像の説明	消防関係法令を理解する	1 法令用語の理解	消防法上の法令用語について理解する	3	
			2 消防の組織と消防同意	消防組織と消防同意について理解する		
			3 防火管理者規定	防火管理者の定義と役割を理解する		
2	消防関係法令 (各類共通部分) の説明	消防用設備に関する規定を理解する	1 消防用設備の種類	消防用設備の種類と役割を理解する	3	
			2 消防用設備を設置すべき防火対象物	消防用設備を設置すべき防火対象物を理解する		
			3 消防用設備等の設置及び維持の技術上の基準	消防用設備等の設置及び維持の技術上の基準を理解する		
3	消防関係法令 (各類共通部分) の説明	消防用設備に関する規定を理解する	1 届け出と検査、定期点検	届け出と検査、定期点検について理解する	3	
			2 検定制度	消防用設備の検定制度について理解する		
			3 消防設備士制度	消防設備士制度について理解する		
4	消防関係法令 (第7類部分) の説明	漏電火災警報器の設置に関する法令を理解する	1 設置する必要がある防火対象物の構造と面積、契約電流	設置する必要がある防火対象物の構造と面積、契約電流について理解する	3	
			2 設置に際しての漏電火災警報器の基準値	設置に際しての漏電火災警報器の基準値について理解する		
			3 漏電火災警報器の設置場所とその方法	漏電火災警報器の設置場所とその方法について理解する		
5	漏電火災警報器の規格の説明	漏電火災警報器の構造について理解する	1 漏電火災警報器とは何か	漏電火災警報器とは何かについて理解する	3	
			2 変流器のみの構造	変流器の構造と種類について理解する		
			3 受信機のみ構造	受信機の構造と種類について理解する		
6	受信機と変流器の機能と構造についての説明	受信機と変流器の機能と構造について理解する	1 変流器のみの機能	変流器の原理と機能について理解する	3	
			2 受信機のみ機能	受信機の原理と機能について理解する		
			3 漏電火災警報器一般の構造と機能	漏電火災警報器の一般的な構造と機能について理解する		
7	漏電火災警報器の設置基準についての説明	漏電火災警報器の設置場所、設置方法について理解する	1 受信機、変流器の設置場所	受信機、変流器の設置場所について理解する	3	
			2 検出漏洩電流設定値	検出漏洩電流の意味と設定について理解する		
			3 漏電火災警報器の施工方法	漏電火災警報器の施工方法について理解する		
8	漏電火災警報器の試験基準についての説明	漏電火災警報器の試験基準、試験方法について理解する	1 漏電火災警報器の試験方法	漏電火災警報器の試験方法について理解する	3	
			2 漏電火災警報器の点検	漏電火災警報器の点検の点検方法について理解する		
			3 漏電火災警報器の整備	漏電火災警報器の整備について理解する		

9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等